

令和3年度乳児院くれよん事業報告書

- 1 所在地 兵庫県朝来市山東町大内505-1
- 2 利用定員 9名（別途一時保護実施特別加算5名）
- 3 職員定数 18名（常勤職員14名非常勤職員4名）
職員配置数 20名（常勤職員17名非常勤職員3名令和4年3月31日）
- 4 事業開始年月日 平成28年4月1日
- 5 事業運営

児童福祉法第37条に規定する乳児院として、こども家庭センターからの入所や一時保護、市町村からのショートステイによる乳幼児を預かり、養育し、あわせて、退所したこどもや家庭の相談や援助を行う。養育の基本方針として、乳幼児の安全健康な生活環境の確保、家庭的養育を基盤とする愛着と信頼関係の構築、こどもの個性と発達に応じた個別的養育の推進を図る中で、一人一人のこどもの心身の健やかな成長を促すような養育支援を行うと共に、家族再統合、里親委託推進、こどもの最善の利益の保障を図ることを目的として運営を行なった。また、地域の様々な機関、社会資源との連携を図りながら、地域支援、子育て支援を行い、地域の児童福祉向上に期するよう事業展開を行うように努めた。

6 支援実績

(1) 年間在籍乳幼児数（各月初日在籍乳幼児数）

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0歳児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
1歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2歳児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
年少児	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	83
計	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	107

(2) 入所・退所乳幼児数

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入所		1										1	2
退所		1										3	4

(3) 一時保護（退所日算入なし）・ショートステイ延日数

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一時保護													0
ショート	6				10	4	3			3		5	31

(4) 一時保護実施特別加算（退所日算入なし）延日数

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一時保護	41	73	120	142	90	60	105	120	124	111	104	128	1,218

(4) 生活時間のめやす

時 間	乳 児	備 考
06:30~00:00	起床・検温	おおむね適応している
	授乳・離乳食・おむつ交換 適時	適応している
	あそび・睡眠 適時	適応している
15:30~00:00	検温・沐浴	適応している
19:30~00:00	就寝	おおむね適応している

時 間	幼 児	備 考
06:30~00:00	起床・排泄・着替え	おおむね適応している
07:00~08:00	朝食・洗面・排便・検温	適応している
08:00~10:00	あそび 8時~14時やなせこども園(平日)2名 9時~14時さくらの一む(平日)3名	適応している
10:00~10:15	おやつ	適応している
11:30~12:30	昼食	適応している
13:00~14:30	午睡	おおむね適応している
15:00~15:15	おやつ	適応している
15:15~16:30	あそび	適応している
16:30~17:30	入浴	適応している
17:30~18:30	夕食	おおむね適応している
18:30~19:30	あそび・TV	適応している
20:00~00:00	就寝	おおむね適応している

(5) 行事等実績

日 程	行 事 名	場 所	参加人数
04月29日	春の遠足	交流センター	乳幼児9職員5
05月05日	こいのぼり	くれよん	乳幼児9職員7
06月04日	ほたる鑑賞会	山東町内川沿い	乳幼児9職員3
07月07日	七夕まつり	くれよん	乳幼児10職員6
08月26日	くれよん祭り	くれよん	乳幼児12職員7
08月11.20日	花火大会	くれよん園庭	乳幼児10職員3
10月1日	お月見	くれよん	乳幼児10職員8
10月23日	くれよん運動会	くれよん園庭	乳幼児10職員5
10月30日	ハロウィン	くれよん	乳幼児13職員5

11月1日	秋の遠足	和田山中央公園	乳幼児5職員2
11月15日	秋のおでかけ	姫路セントラルパーク	乳幼児4職員2
11月27.30日	七五三	粟鹿神社	乳幼児3職員3
12月12日	もちつき大会	地域交流室・駐車場	乳幼児13職員6
12月22日	さくらるーむクリスマス会	地域交流室	乳幼児10職員2
12月24日	クリスマス会	くれよん	乳幼児13職員6
1月13日	お茶の手前会	くれよん	乳幼児6職員2
2月3日	節分	くれよん	乳幼児12職員8
2月24日	お店屋さん体験会	地域交流室	乳幼児12職員5
3月3日	ひなまつり	くれよん	乳幼児12職員8
年間16回	クッキング・製作	くれよん	在籍幼児勤務職員
年間11回	家庭菜園	くれよん園庭	在籍幼児勤務職員
年2回	非常時生活体験 (防災訓練) (電気水道無非常食)	くれよん	在籍児童勤務職員
年3回	救命処置訓練	くれよん	在籍児童勤務職員

(6) 避難訓練実績

各月1回 年12回

(7) 支援計画の策定と実施

①自立支援計画

個別乳幼児について、こども家庭センターの支援指針、幼児、保護者、施設の意見を取入れ、自立支援計画を策定し、計画の実施と再評価を行い、個別乳幼児の課題達成に努めた。

②個別対応

個別対応が必要とされる乳幼児について、生活場面や創作活動での1対1の対応を行い愛着関係の再構築に努めた。入院児童の個別ケア及び若草寮心理職員と協働しプレイセラピーを開始した。

③家庭支援相談

保護者への相談・支援等を行い、親子関係の再構築を図り、家庭復帰に向けた支援を行いました。面会は95件、一時帰宅は12件でした。今年度よりオンライン面会を開始し保護者の要望に応えることができました。季節ごとに保護者に手紙(写真)を送り状況報告を行いました。里親委託1組行い継続的に支援を行っています。家庭復帰は1名・施設異動は2名でした。

④集団行事

乳幼児の安全を最優先し、それぞれの季節に合った行事の計画、実行に努めました。また、年齢と成長を考慮し行事の細分化に努めた。コロナ禍により健康リスクを考慮し、今年度より児童と共に救命処置訓練を開始しました。

7 支援結果の概要

- (1) 今年度は、さくらの一む（プレこども園）を3名行い、来年度のやなせこども園通園に向け準備ができました。
- (2) 乳児は、日常生活に適応し、元気よく、健やかに生活することができた。
- (3) 1.2歳児は、日中年少児がさくらの一むに通園する分、くれよんでゆっくりと生活することができ、生活の変化を感じ取ることができました。
- (4) 年少児は、トイレトレーニングを中心に、時間毎の声掛けを徹底しました。クッキングや家庭菜園にも楽しんで取組めた。
- (5) やなせこども園通園時2名は、新しい生活環境を楽しむことができました。
こども園の先生方とも児童の問題行動を改善するために協力できた。
- (6) 食事に関しては、調理師を中心に幼児にも要望を聞きながら提供しました。また食育計画の見直しを行い、職員間の共通認識に努めました。
- (7) 特別な支援の必要な乳幼児
神経芽腫再発 1名（年 12回 延べ日数 238日入院 兵庫県立こども病院）
アトピー性皮膚炎 1名
重度知的障害・ASD 1名
- (8) 通院 延べ 268人
- (9) 予防接種 四種混合 延べ 2人 日本脳炎 延べ 5人 MR 延べ 5人
肺炎球菌 延べ 4人 H I B 延べ 5人 ロタ 延べ 2人
水痘 延べ 5人 B型肝炎 延べ 3人 インフルエンザ延べ 20人
おたふく 延べ 1人
- (9) 健康診断 4月 10人 10月 13人

【運営管理】

1 人事・労務

(1) 職種別職員数

職種	施設長	指導員 保育士	看護師	調理員等	補助員	非常勤	嘱託医	計
年度初	1	13	1	1	1	1	1	19
年度末	1	13	1	1	1	2	1	20

※今年度は育児休業職員2名いた為、職員定数以上を雇入れています。

(2) 採用・異動

月日	職種	人数	学歴	福祉施設経歴等	備考
04月01日	保育士	1	短大卒	有	若草寮より異動
04月01日	保育士	1	高卒	有	他乳児院経験有
04月01日	補助員	1	短大卒	無	栄養士資格有
06月01日	保育士	1	短大卒	有	若草寮より異動
01月01日	夜間専門	1	高卒	無	花道・茶道講師

(3) 退職・異動

月日	職種	人数	学歴	勤務年数	退職理由
05月31日	保育士	1	大卒	4.2	若草寮へ異動
03月31日	保育士	1	大卒	1.8	海外青年協力隊参加の為退職
03月31日	保育士	1	短大卒	5.0	定年退職→継続雇用

2 協定締結及び届出

36協定（4月1日締結令和3年3月18日届出）

1箇月単位の変形労働時間制に関する協定（4月1日締結令和3年3月18日届出）

3 会議

(1) 施設が開催した内部の主要会議

- ① 職員会議（リーダー会議・ユニット会議・給食会議含む）
- ② 職員ミーティング
- ③ 支援検討会議（自立支援計画策定会議を含む）

(2) 関係機関等開催の外部会議（コロナ禍により、文書決議・オンライン・中止有）

兵庫県乳児院連盟会議 近畿乳児福祉協議会会議 兵庫県児童養護連絡協議会会議
行事实行員会会議 こども家庭センターとの会議 要保護児童対策地域協議会会議
支援関係者・機関との会議

- 4 職員健康診断 和田山健康倶楽部 入社時健診 4月 2人
 定期健診
 5月 12人
 11月 6人 12月 10名 1月 1人 2月 1人
 インフルエンザ予防接種 18人
 腸内細菌培養検査 12回 延べ180人
 新型コロナ予防接種 1.2回目施設申し込み

5 監査等

- (1) 指導監査 令和3年10月14日
 概ね良好な運営 文書指摘 無 口頭指摘 2件(預り金・資格証)
- (2) 消防設備等点検 年2回
- (3) 自主点検
 建物遊具点検 毎月

6 研修(コロナ禍により、オンライン・資料配布・レポート提出・中止有)

- (1) 職員外部研修
 兵庫県児童養護連絡協議会職員部会研修、新任職員研修、離乳食研修、縣市乳児院合同研修、近畿乳児福祉協議会職種別研修、近畿乳児福祉協議会研修会、全国乳児福祉協議会研修会、児童虐待防止啓発研修、里親研修会、社会的養護施設長研修会
- (2) 職員内部研修
 経営計画策定(法人)研修、自立支援計画実施研修、支援技術研修、栄養・給食研修、危機管理研修、法令・諸規定研修、保育研修、発達障害研修、施設内虐待防止研修、発達障害研修、人権研修

7 苦情内容及び解決結果

施設および第三者委員への苦情はありませんでした。

【施設整備等】

1 器具及び備品・構築物の購入

ノート PC フォスタリング機関用	135,300円		5月
ノート PC*4 デスク PC 買替	676,500円		10月
コピー機 リコー 買替	811,800円		10月

2 業務委託・保健衛生・保守

防虫防鼠駆除管理委託(月1回)	55,000円		年間2回支払
消防用設備等点検整備委託	59,400円		年間2回
一般廃棄物収集処分委託	112,200円		毎週2回

【寄付金・寄付物品】

1 寄付件数 49 件 168,000 円

【地域との交流・連携】

※今年度は、施設費用で新型コロナ抗原検査を実施することにより、昨年度より実施件数を増やしました。

1 実習生・ボランティアとの交流

(1) 実習生の受入：豊岡短期大学 3 名

(2) もちつき大会：秋山石油

2 地域社会を通じた交流と連携

(1) 地域行事への参加（今年度も無）

(2) 民生児童委員施設訪問

(3) 市町村の施設訪問

(4) 大内地区への児童製作物・お手紙等の配布

3 関係機関・各種団体との連携

(1) 県児童課等関係部局、こども家庭センター、健康福祉事務所、医療機関

(2) 市役所、警察署、消防署、職業安定所、労働基準監督署、日本年金機構、その他官公庁

(3) 民生委員、虐待防止ネット、県（児童養護）・近畿・全国の乳児院協議会

(4) こどもの権利擁護委員会、第三者委員、運営適正化委員会

(5) 社会福祉協議会、社会福祉財団

(6) 要保護児童対策協議会（朝来市）

4 地域の子育て相談事業・支援事業

(1) 一時保護実施特別加算事業

(2) ショートステイ事業